大分県公立高校の入試選抜方法
■推薦入学者選抜

令和8年度の推薦入学選抜より段階的に推薦要件が変更されます。

〇令和9年度推薦入学者選抜の変更点について

（1）大分・別府両市以外の全日制普通科において、指定地域からの志願者を対象として先行する「地域活　　性化枠」を設定した「自己推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要としない）の実施を可能とする。これにともない、これまでの「推薦入学者選抜A」「推薦入学者選抜B」の区分を廃止し、「学校推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要とする）と「自己推薦型入学者選抜」（中学校長の推薦を必要としない）の入試区分に改定。

（2）「学校推薦型入試選抜」「自己推薦型入試選抜」ともに、多様な方法で選考できるように学校の状況　　に応じて適性検査、集団面接等の選抜方法の中から実施が可能

〇推薦要件区分・・・【活動指定あり】【活動指定なし】【志望学科】の3区分

【活動指定あり】【活動指定なし】【志望学科】の区分は、その両方または一方を全県立高校の全学科において実施。
【活動指定あり】は高校の判断により募集可能

【活動指定あり】
高校ごとに指定したスポーツ活動、文化活動に係るもの。
【活動指定なし】
スポーツ活動、文化活動、若しくはその他の活動において、アピールできるものを有するもの。ただし、【活動指定あり】の推薦要件を定める高校においては、当該要件で指定したスポーツ活動、文化活動を除く。
【志望学科】
志望する学科に係るもの。

〇主要校の募集人数・調査書点に係る基準・選抜の資料／評価の観点

			選抜の資料／評価の観点			
高校名	募集人数（※1）	調査書点に係る基準（※2）	調査書（全教科）	調査書（要件該当）／推薦書	面接結果	小論文結果
上野丘	【あり】15人 【なし】 5人	調査書点が140点以上の者	15%	40%	25%	20%
舞鶴（普通科）	【あり】39人 【なし】 5人	調査書点が123点以上の者	16.7%	50%	16.7%	16.7%
豊府	【あり】 ー 【なし】14人	調査書点が123点以上の者	30%	45%	10%	15%
大分西	【あり】48人 【なし】12人	調査書点が108点以上の者	20%	40%	20%	20%
雄城台	【あり】22人 【なし】11人	調査書点が94点以上の者	10%	50%	20%	20%

（※1）【あり】は【活動指定あり】、【なし】は【活動指定なし】を指します

（※2）出願時に提出する調査書点は、1年次、2年次の評定合計に3年時の評定合計を2倍し足した180点満点

令和8年度の推薦入試より、それぞれの高校で求める生徒像（アドミッション・ポリシー）や推薦要件の詳細が教育委員会のHPで開示されています。推薦入試を検討されている生徒は必ず要件や調査書点に係る基準を確認しましょう。

〇令和9年度　推薦入学者選抜に関する日程

出願期間	令和9年1月18日（月）～1月21日（木）
検査日	令和9年1月28日（木）・1月29日（金）
合格内定通知日	令和9年2月1日（月）
合格者発表日	令和9年3月12日（金）

○面接での質問内容例

志望動機	その学校を選んだ理由。自分の言葉で伝えるのがポイント。
将来の希望	相手がイメージしやすいようにできるだけ具体的に。理由も添えて。
高校での抱負	勉強・クラブ活動・文化祭などの学校行事など具体的に。
部活動	部活動名・ポジションや役割など活動を通してどんなことを学んだかを述べよう。
その他	最近のニュースで最も印象に残ったこと。趣味。特技。長所と短所について。中学生活で最も印象に残ったことなど。

○小論文のテーマ…過去の問題例

分類	課題（テーマ）	字数	時間
中学生活体験	中学校生活で身につけた教養について書きなさい。（R5年度　大分上野丘高）	180～220字	60分
	中学校生活において、「殻を破った」経験について、そして将来のために高校でチャレンジしたいことを書きなさい。（R5年度　大分舞鶴高普通科）	400字	45分
高校生活	自分の内面、精神力を高めるために高校生活でどのようなことに取り組むかを書きなさい。（R4年度　大分上野丘高）	160～200字	60分
	文章を読み、前半では筆者の考えをまとめ、後半では文章を踏まえ、この学校でどのようなことを学び、身につけ、生かしていくか。自分の将来のこともまじえて書きなさい。（H30年度　大分豊府高）	600字	60分
	あなたは、どのような高校生活を送りたいか。学習、部活動、学校行事において具体的に書きなさい。（H28年度　大分工業高）	500～600字	50分
文化	「日本人は第三者に敬語を使う時、定型的な敬語しか使えず、奇妙な敬語になってしまう。ゆえに口下手文化になり奇妙な敬語を使ってしまうのは仕方ないことであろう」という文章について、あなたの体験を踏まえて具体的にどうしたいか書きなさい。	400字	50分
	（遺跡についての文章を読み、下線部「遺跡は過去と未来をつなぐ掛け橋である」を参考にして）遺跡発掘調査に関する自分の考えを述べ、遺跡の保存や発掘調査を困難にしている問題点とその解決策について書きなさい。	600字	50分
科学技術	提示してある科学の文章を読んで、筆者の意見と自分が中学校で学んだことを踏まえて、高校でしたい実験とその予想を書け。（H28年度　大分舞鶴高理数科）	250字	30分
	「沈黙の春」を読んで、農薬「DDT」と「マラリア」について自分の考えを答えなさい。（H26年度　大分舞鶴高理数科）→問題の一部として出題。	250字	50分
	日本の降水量は多いが、水資源は少ない。それを改善するためにどのような技術を発展させればよいか。（H25年度　大分舞鶴高理数科）→問題の一部として出題。	250字	50分
社会問題	自分が今まで体験した「社会の出来事」について書きなさい。 （R4年度　大分舞鶴高校普通科）	300～500字	45分
	現在の日本における「超高齢社会」の問題点とその改善点について書け。また、次の物語を読んで、物語の主人公の心の移り変わりと、このようなあなたの経験についても述べよ。（H24年度　大分上野丘高）	450～600字	60分

■一般入学者選抜

昨年までは「第一次入学者選抜」「第二次入学者選抜」という選抜方法でしたが、令和9年度からは「第二次入学者選抜」が廃止され、「第一志願における志願者を確定後、第二志願・第三志願を募集する」という選抜方法に変わりました。これにより、最大3校まで出願できるようになり、1回の筆記試験結果を用いて第一志願～第三志願へと自動でスライド判定することができます。ただし、第二志願・第三志願の募集を行った学校・学科であっても、第一志願の選考の結果、定員に達した学科については選考が行われません。第二志願校については、普通科は出身中学校のある市町村ごとに出願可能な複数高校が設定されますが、第三志願校については県内すべての高校に出願できます。専門学科や総合学科には第二志願及び第三志願ともにエリアの設定はありません。

一般入試の募集人員は、各学校の入学定員から推薦入試合格内定者数を減らした数で発表されます。推薦入試で合格が内定した生徒は、一般入試に出願できません。選抜方法は、学力検査の得点（300点満点／5科目×60点；各50分）と9科目の調査書、また一部の学校においては、適性試験や面接を総合的に見て合否を決定します。その際、調査書の合計点と学力検査成績の比率は、下表のように高校ごとに決まっており、面接の実施の有無も高校によって異なります。

令和9年度 第一次入学者選抜に係る学校ごとに定める事項（一部抜粋）

高等学校		調査書の合計点と学力検査成績の比率 （調査書）：（学力検査）	面接
大分上野丘		3：7	
大分舞鶴	普通科	3：7	
	理数科（くくり募集）	3：7	
大分豊府・雄城台・大分西・大分南		3：7	
大分工業・大分商業		3：7	
情報科学		3：7	
大分東		3：7	◯

調査書の内訳（平成30年度入試より下記の通り）

中1	英数国社理…5（点/教科）×5（教科）＝25（点）	合計260点 合計点を300点に換算、さらに、上表の学校毎の係数を掛けて判定する。
	保体・音・美・技家…10（点/教科）×4（教科）＝40（点）	
中2	英数国社理…5（点/教科）×5（教科）＝25（点）	
	保体・音・美・技家…10（点/教科）×4（教科）＝40（点）	
中3	英数国社理…10（点/教科）×5（教科）＝50（点）	
	保体・音・美・技家…20（点/教科）×4（教科）＝80（点）	

令和9年度　第一志願に関する日程

出願期間	令和9年2月4日（木）～2月10日（水）
志願変更期間	令和9年2月15日（月）～2月18日（木）
第一志願検査日	令和9年3月3日（水）・3月4日（木）
合格者発表日	令和9年3月12日（金）

令和9年度　第二志願・第三志願に関する日程

出願期間	令和9年2月22日（月）～2月26日（金）
第二志願検査日	令和9年3月5日（金）
第三志願検査日	令和9年3月8日（月）
合格者発表日	令和9年3月12日（金）

■問題の難易度

毎年、大分県教育委員会が公立高校の全受験者の得点を集計し、平均点を発表しています。過去3年の結果を下表にまとめました。令和7年度は令和6年度と比較して、社会が平均で5.1点、理科が平均で12.1点下がり、難易度が上がっていました。令和8年度においては、社会が平均で5.1点、英語が平均で1.6点上がっており、昨年度と比べ合計の平均点は4.1点上がっています。大学入試改革の影響で思考力・判断力・表現力を求める試験に変わっていくなか、今後も情報と情報を関連付け整理する力や、目的や相手に応じて自分の考えをまとめ表現する力を計る問題が出題される可能性が高いと考えられます。大分県の公立入試は年毎の平均点変動が大きいため、過去の傾向を把握しながら、しっかりとした入試対策に取り組む姿勢が必要となります。

大分県公立高校入試の平均点推移

	R6	R7	R8
国語	27.5（45.8%）	33.7（56.1%）	32.0（53.3%）
数学	30.8（51.3%）	28.9（48.1%）	28.2（47.0%）
社会	32.3（53.8%）	27.2（45.3%）	32.3（53.8%）
理科	38.6（64.3%）	26.5（44.1%）	26.4（44.0%）
英語	27.0（45.0%）	26.9（44.8%）	28.5（47.5%）
合計	156.1（52.0%）	143.2（47.7%）	147.3（49.1%）